

資料館の動き

海外からも多くの来館者

今年も海外からも多くの方々が資料館に訪れています。5月にはアメリカ合衆国オハイオ州立大学の学生、6月には韓国大浦洞運動本部からの視察団、7月にはインドネシア教育振興会の視察団と金沢大学RESDの学生、8月には台湾の行政官の方々も来館されました。

環境問題や公害対策については、どこの国においても重要な課題であるようで、イタイイタイ病に強い関心を示され、語り部講話では熱心に質問する姿がありました。資料館では海外からの来館者にも対応できるよう、4カ国語（英・中・韓・ロ）の音声ガイド等を準備しています。



土壌汚染の映像を視聴される韓国からの視察団

展示室を見学されるオハイオ州立大生

イタイイタイ病資料館活用研修会

8月20日（火）に開催したイタイイタイ病資料館活用研修会には、県内の小・中学校から11校13名の教員が参加されました。

教員らは資料館の学習メニューになっているガイダンス映像の視聴と展示室の見学後、小松稚子氏の語り部講話を聴講。

その後、富山大学人間発達科学部附属小学校の阿久津理主幹教諭より、県民フォーラムでの研究発表やイタイイタイ病を社会科授業の場で扱う実践事例を紹介していただきました。



展示資料の解説を聴く先生方

語り部講話の聴講者を募集いたします

資料館を団体（原則10名以上）で見学される場合には、事前に申込みいただく、イタイイタイ病に関して貴重な体験をされた語り部さんの講話を聴くことができます。詳しくは資料館ホームページをご覧ください。

メルマガジン

【登録者募集中】

資料館の最新情報などをお伝えするメールアドレスを配信しています。配信を希望される方は、次のメールアドレスあてにメールを送信してください。【mhope@itaitai-dis.jp】

発 行/富山県立イタイイタイ病資料館

〒939-8224 富山県富山市友杉151番地（とやま健康パーク内）
電 話 ☎076-428-0830 FAX ☎076-428-0833

（令和元年10月発行） URL ▶ <http://www.pref.toyama.jp/branches/129/> 富山県

語り部・解説ボランティア研修会

6月22日（土）、資料館の語り部と解説ボランティアの皆さん13名が参加して研修会を行いました。

県産生研究所の上野美穂環境保健部長からイタイイタイ病に関する調査研究の成果と現状について講話がありました。



研修を受ける語り部と解説ボランティアの皆さん

これまでの出来事（令和元年度上半期）

令和元年（平成31年）

- 春の特別企画展
4月28日（日）「イタイイタイ病公開講座」
4月29日（月・祝）～5月6日（月・休）
「イタイイタイ病講座」
「イタイイタイ病公開講座」
語り部・解説ボランティア研修会
2月26日（金） 夏休み自由研究講座
～イタイイタイ病の学習と水質調査～
8月2日（金） イタイイタイ病を学ぶ日帰りバスツアー
8月20日（火） イタイイタイ病資料館活用研修会

資料館インフォメーション

令和元年度下半期の行事予定

令和元年
10月5日（土） 四大公害病の語り部講話を聴く～語り部による伝承会～

令和2年
2月15日（土） イタイイタイ病を考える県民フォーラム（講演、学習発表など）

資料館だより

2019年 秋 号

contents

- 館長あいさつ.....1
- 春の特別企画展開催.....2
- 語り部コーナー.....2
- 夏休みに開催した行事を紹介します！.....3
- 資料館のうきき、インフォメーション4



4月28日～5月6日

春の特別企画展

「イタイイタイ病公開講座」
「イタイイタイ病映像展」

7月26日・8月2日

夏休み企画

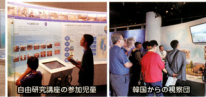
「自由研究講座」
「日帰りバスツアー」



オハイオ州立大学の学生さん



日帰りバスツアー 林間道車道で芝居撮影



自由研究講座の参加児童 韓国からの視察団

令和時代を迎え、環境課題の解決を

富山県立イタイイタイ病資料館 館長 飯田 博行

今年春の特別企画展では、「見て触って学ぶイタイイタイ病公開講座」、語り部講話の映像を上映する「イタイイタイ病映像展」を開催し、大勢の方にご参加いただきました。また、夏休み企画「自由研究講座～イタイイタイ病の学習と水質調査～」、「イタイイタイ病を学ぶ日帰りバスツアー」に、小学5～6年生の皆さんに熱心にご参加いただき有難うございました。

最近、国連が掲げる「持続可能な開発目標（Sustainable Development Goals: SDGs）」の達成に向けた取り組みの機運が政府や自治体、企業等で高まっています。SDGsは2015年の国連サミットで採択され、2030年に向け世界が共通する17分野の課題に対して、環境・経済・社会の側面から具体的な目標を設定しています。特に環境との関連が深いゴール6（水と衛生）、ゴール13（気候変動）、ゴール14（海の豊かさ）、ゴール15（陸の豊かさ）では過去の施策の反省を踏まえた課題解決が求められます。

5月から新元号「令和」になり、新しい時代を迎えました。「令和」を海外向けに、「Beautiful Harmony＝美しい調和」という趣意であると外務省は説明しています。自然や環境と人々のくらしとの調和を大切に、安全で平和な新時代になることを願い、健康の大切さを伝えていきたいと思っております。



見て触って学ぶ 『イタイイタイ病公開講座』

4月28日(日)に「イタイイタイ病公開講座」を開催しました。富山大学大学院医学薬学研究所の井村健二教授の講義では、井村教授の研究成果に基づき、カドミウムの体内蓄積が原因で骨髄障害が起こり、必要なリンやカルシウムが尿とともに体外へ排出された結果骨がもろくなりイタイイタイ病が発症する仕組み、貧血や腎臓の萎縮など骨以外にも現れる症状について解説いたしました。約30名の参加者は病理標本の画像をパッチャルスライドで拡大して見たり、臓器模型を触ったりしながらイタイイタイ病への理解を深めました。

春の特別企画展



語り部講話の映像を視聴される来賓者

『イタイイタイ病映像展』

4月29日(月)から5月6日(月)までの8日間「イタイイタイ病映像展」を開催しました。資料館の語り部講話を撮影した映像を終日上映しました。大勢に伴う大型連休中の開催ということもあり、道内県内外から多くの人が来館されました。中には語り部さんの講話映像に聞き入り涙をこぼされたりとすずり泣く人もいました。また、映像上映の会場には、同時展示していた病理標本や病理解説の提示パネルを細部まで熱心に見入る姿もありました。



解説を聞く来賓者



パッチャルスライドで標本を観察

イタイイタイ病を語り継ぐ 資料館の語り部さんです

資料館の語り部の方をシリーズで紹介していきます。今回は小松雅子さんに、これまで活動されてきて、うれしかったことや今後伝えていきたいことについて聞いてみました。



小松 雅子さん

小松さんのお祖母さんがイタイイタイ病の患者さんでした。また、小松さんの父・義久さんはイタイイタイ病対策協議会の初代会長として、患者救済や裁判闘争に尽力されました。

小松さんは、お祖母さんをお世話された思い出や父・義久さんの足跡を振り返りながら、被害者団体の会長としてイタイイタイ病と向き合ってきた自身の体験をお話されています。

Q1. これまで活動されてきて、うれしかったことは?

天皇皇后両陛下が資料館をご訪問され、語り部の一ひとりにお言葉を戴きました。そのお言葉をそのまますのぶ父の言葉に捧げることができたこと。また、イタイイタイ病で亡くなった患者とご遺族の方にも、戴いたお言葉を捧げたと思います。G7各国の環境大臣がご来館され、イタイイタイ病の被害と克服の歴史に触れていただいたこと。各ご訪問で心を寄せていただいたことに、生忘れられないほどの嬉しさを感じました。

Q2. 語り部として、今後伝えていきたいことは?

持続可能な社会のために、一人ひとりが自分のこととして考え何ができるのか、イタイイタイ病を学び、環境・あらゆる生命、社会の背景、人としての生き方をとらえ、イタイイタイ病の恐ろしさや克服してきた歴史を伝えていくことができたらと思います。

資料館の夏休み企画が行われました 次代を担う子どもたちがイタイイタイ病や環境の大切さについて学びました。

夏休み自由研究講座 ～イタイイタイ病の学習と川の水質調査～

小学5・6年生を対象とした「夏休み自由研究講座」が行われ、12組24名の親子が参加しました。ガイダンス映像を視聴した後、展示解説を聞きながらワークシートのクイズにも挑戦しました。参加した親子たちは展示資料から正確な情報を抽出し回答していました。

病気の恐ろしさや患者家族の様子、被害者たちたのび隠して裁判闘争にいたるまでの歩み、その後の対策と取り組みについて理解を深め、環境と健康の大切さを学習しました。

後半は「川の水質を調べよう」をテーマに、いちも川の清流が下流にかけて4箇所で見学した川水を使って、パックテストで汚染を測り各地ごとの数値を比較してみました。

講師の朴木英治氏から手順を教わり、全員が初めて扱う試薬に手こずりながらも真剣に実験に取り組んでいました。閉講式で修了証を授与された参加児童たちからは、わかりやすい説明で夏休みの自由研究に役立ちますと好評でした。

開催日時：7月26日(金) <13時30分から16時30分>

内容：①ガイダンス映像の視聴

②展示室の解説とワークシートを使ったクイズ

③川の水質を調べる実験 (講師：薬学博士 朴木英治氏)

参加者の声

「イタイイタイ病のことや川の水質調査のわかりやすくて勉強になりました。たくさんのお話を聞いてきました。たくさんのお話を聞いてきました。たくさんのお話を聞いてきました。」
(小学5年生 女子)

「今回、子供と一緒に学習クイズに答えたりしたこと、イタイイタイ病のことをよく知ることができました。素晴らしい川になるまで大変な努力があったのだから驚かされました。富山の美しい環境を守りたいと思います。(40歳代の保護者 女性)」



実験中の様子



修了証の授与



講師と一緒に全員で記念撮影



バスツアー出発前に資料館の展示を見学



復元田の見学

イタイイタイ病を学ぶ日帰りバスツアー

登壇が中心、小学5・6年生を対象とした「イタイイタイ病を学ぶ日帰りバスツアー」に、19組39名の親子が参加して、イタイイタイ病について関係のある場所を巡りながら学習しました。

朝、資料館に集合し展示解説を聴いてから神岡鉱業所に向けて出発しました。神岡鉱業の工場では排水管理センターやシックナー(凝集沈降装置)、たい積場を見学し、排水処理の方法や「環境安全最優先」を方針とした環境への取り組みの説明を受けました。

午後は、カドミウムを取り除かれた焼中時新備の復元田を見学し、良質な米作りのための努力と工夫を学びました。最後は清流会館ではイタイイタイ病対策協議会の高木勲賞会長から患者・被害者家族救済への歩みと苦闘の経緯をわかりやすく教わりました。全員無事に資料館に戻り、解散式でバスツアーを終えました。

開催日時：8月2日(金) <8時40分～16時40分>

見学場所：①資料館→②神岡鉱業(排水管理センター、シックナー、和佐保たい積場)→③復元田→④清流会館→⑤資料館

参加者の声

「イタイイタイ病のことを細かくところまで説明してくださり、資料館の自由研究で使ったことになりました。このバスツアーで、富山の自然や文化についても学びました。このバスツアーで、富山の自然や文化についても学びました。このバスツアーで、富山の自然や文化についても学びました。」
(小学6年生 女子)

「富山県に生まれていなくても知らなかったイタイイタイ病について学ぶことができました。遠道から学びに来た(子供)へ伝えることが、今の時代を生きる私たちにも必要だと感じました。」
(30歳代の保護者 女性)